

2006年2月20日

ディザスタリカバリソリューション「@Managehome DRS」を開始

災害対策コンサルティングからバックアップシステム構築・運用・復旧までワンストップで対応

株式会社日立情報システムズ（執行役社長：堀越 彌、本社：東京都品川区大崎、以下「日立情報」）は、災害発生時に情報システムの速やかな復旧を可能にするディザスタリカバリソリューション「@Managehome DRS（アットマネージホームDRS）」を、本日より開始いたします。

「@Managehome DRS」では、お客様のビジネス継続性確保の観点から情報システムの災害対策コンサルティングを行い、お客様の業態に適したコストパフォーマンスの高いバックアップシステムを提案、その構築から運用・復旧まで日立情報がワンストップで支援します。バックアップシステムの構築・運用には、日立情報が運営する全国19箇所のデータセンタから適切なセンタを活用し、万一の災害発生時には、データセンタがシステム切り替えから復旧・サービス開始まで迅速にサポートします。

お客様は当サービス利用により、お客様のBCP/DRP（注）に基づいたバックアップシステムを低コストで導入でき、ビジネス継続性を確保できます。

（注）BCP/DRP：Business Continuity Plan（事業継続計画）/Disaster Recovery Plan（災害復旧計画）

1. 「@Managehome DRS」の特長

（1）お客様の情報システムに適合したきめ細かいサービスを提供

お客様のBCP/DRPに基づき、情報システムの重要度・緊急度、システム規模に応じたバックアップサービスを提案・提供します。一例として、システムの停止が許されない重要業務には、バックアップシステムへの即時切り替えが可能な「ホットサイト」を提案します。その他、システム復旧までにかけてよい時間とコストとの兼ね合いにより、お客様のニーズにきめ細かく対応し、コストパフォーマンスの高いバックアップサービスを提供します。

（2）同時被災回避に対応できる全国19拠点のデータセンタを選択可能

お客様の地域特性に合わせ、東京、神奈川、大阪をはじめとする全国19箇所のデータセンタから適切なセンタを利用できるため、同時被災を回避できます。データセンタには、24時間365日の運用体制と高レベルの安全性・セキュリティを兼ね備えており、お客様のシステムやデータを確実にバックアップします。

（3）ISMS認証取得のデータセンタによる高品質・高効率運用により、品質と低コストの両立を実現

日立情報のデータセンタでは、ISMS認証取得、システム運用のベストプラクティス「ITIL®」に沿った運用管理基盤など、高品質・高効率運用を実現しています。こうした運用設備、運用体制を活かすことにより、高品質なバックアップサービスを低コストで提供可能にしています。

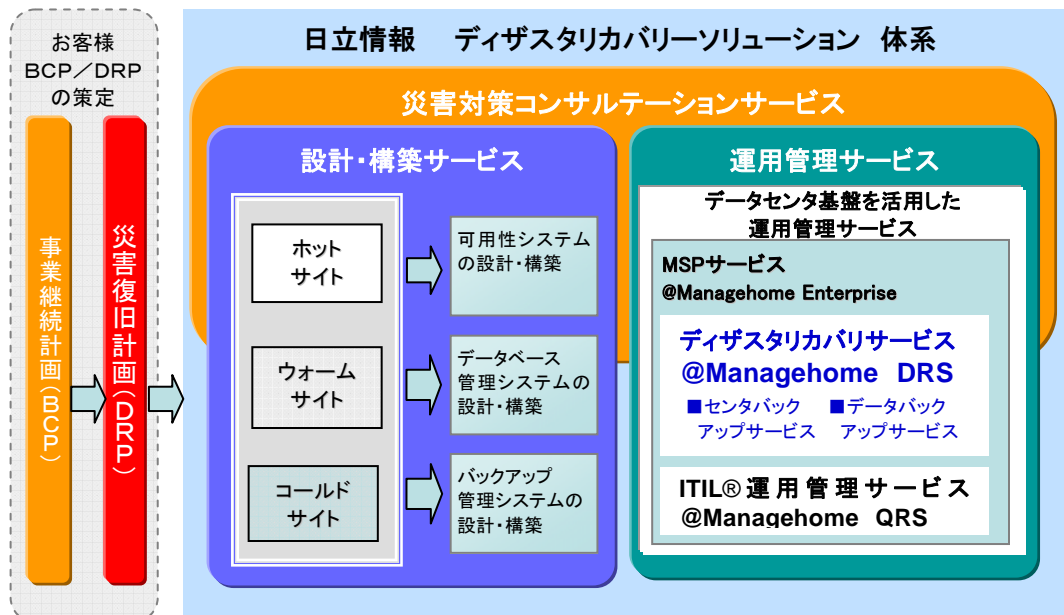
2. 「@Managehome DRS」開始の背景

近年の情報システムへの依存度が高まる中で、短時間のシステムダウンでも企業経営に大きな影響を与えるようになってきています。政府も昨年「事業継続ガイドライン」や「首都圏直下地震対策大綱」を発表するなど、災害時における企業の事業継続の必要性を強調しています。このような背景から、日々の業務を支える情報システムのバックアップシステム整備が、企業にとって重要な課題となっています。

日立情報では、アウトソーシングベンダとして長年培った運用経験を活かし、お客様のシステムマネジメント全般をサポートするMSPサービス「@Managehome Enterprise」を提供し、その一環として、金融業などへバックアップシステムの構築・運用を提供してまいりました。今回、災害発生時における企業の事業継続の観点から、データセンタ基盤とシステム運用技術の活用により、お客様のニーズにきめ細かく対応でき、コストパフォーマンスにも優れたディザスタリカバリソリューション「@Managehome DRS」を提供いたします。

3. 「@Managehome DRS」のソリューション体系

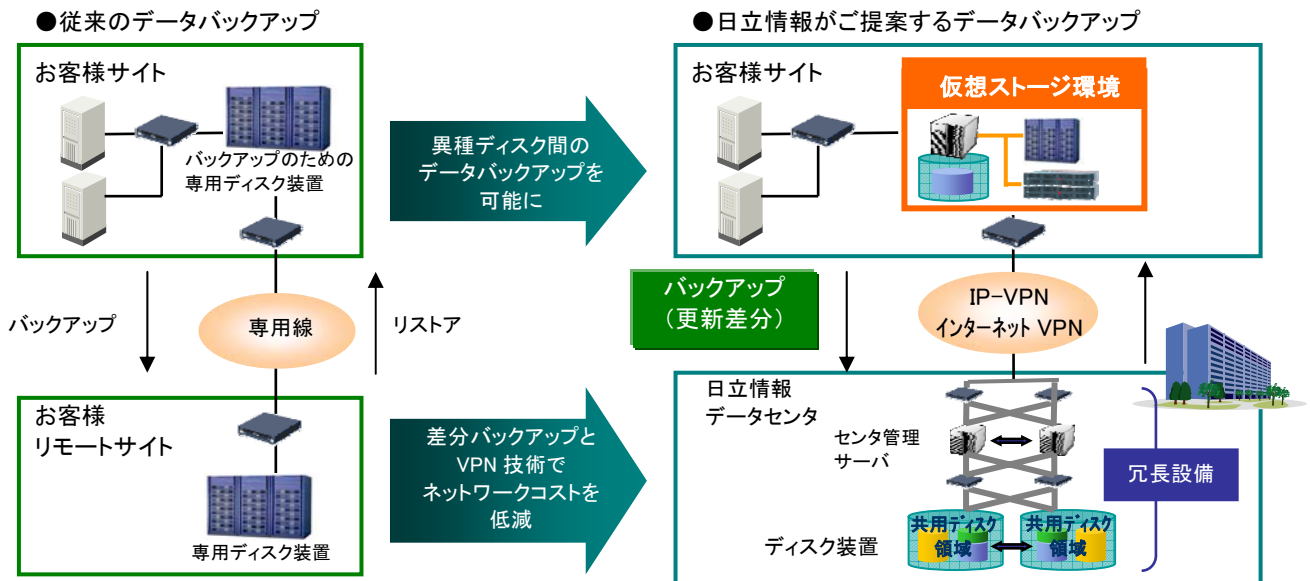
お客様策定のBCP/DRP実行レベルに応じた災害対策コンサルテーションを行い、お客様の情報システムの重要度、緊急度に応じたバックアップシステムを設計・構築します。またバックアップシステムの運用を当社データセンタにて運用管理し、万一の災害発生時にはシステム切り替え、サービス提供開始まで当社がワンストップでサポートします。



4. 「@Managehome DRS」が提供するデータバックアップサービス

災害対策でも特にニーズが高いデータバックアップについては、次の特長を実現しました。

- (1) 従来、異種ディスク間のバックアップが難しく、専用ディスク装置の購入が必要でした。日立情報が提供するサービスでは、仮想ストレージ環境の構築により異種ディスク間のバックアップが可能で、これにより両拠点で専用装置が不要となり、初期コストを低減できます。
- (2) 膨大な転送量のバックアップデータも、スナップショットと差分ブロックのみの転送により、ネットワーク帯域を抑えたバックアップを実現しています。また、VPN 技術により安価な IP ネットワーク・インターネットも利用可能で、運用コストを低減できます。
- (3) 冗長化されたデータセンターのストレージ環境の提供、バックアップ対象ディスクの I/O 制御とスナップショット技術を活用したバックアップデータの整合性確保により、確実なデータバックアップができます。



5. 販売先、販売価格、販売目標

- (1) 販売先：大企業～中小企業まで幅広い業種に販売
- (2) 販売価格：(データバックアップサービスの場合)
 - ・バックアップデータ：1TB 以内、契約期間：5 年、回線費用は別途発生
 - 初期費用：個別見積
 - 月額費用：294,000 円 (税抜き：280,000 円)
- (3) 販売目標：今後 3 年間で 150 社、20 億円の売上を計画

6. 問い合わせ先

【お客さまからの問い合わせ先】

商品問い合わせセンター FainDesk (ファインデスク)
TEL 0120-346-401 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日は除く)
e-mail faindesk.p@hitachi.joho.com

【報道機関からの問い合わせ先】

CSR 本部 広報部 広報・IR グループ 松林、杉山
〒141-8672 東京都品川区大崎 1-2-1
TEL 03-5435-5002 (ダイヤルイン) e-mail press@hitachi.joho.com

※記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

以上